

No.	項目	意見の概要	市の考え方(回答)	該当頁
1	(1)―⑤―1 生涯学習・読書推進・スポーツ振興 数値目標 ・市民一人当たりの年間貸出冊数 現状(R3年実績)3.1冊、目標(R8年) 4.5冊	表示されている冊数は平均冊数ですが、行政区分け地域別冊数では約1冊から7冊迄地域差が大きいのが現状です。この視点からボトムアップに対する施策(又は戦略)も明記すべきと考えます。 市民読書基本条例施行の中津川市としてはこの現状・目標共に冊数の値は低いと考えます。せめて目標冊数は全国平均の2倍は確保したいですね。	・本計画は市総合計画に基づき、市全体の方向性に具体的な目標数値を定めて取り組む内容を示しているため、行政区ごとに目標設定は行っておりません。 ・市では公民館図書室や地域図書室、幼保こども園、学校、高齢者施設等への配本等により、市内のどの地域でも同じ水準の図書サービスの提供を行っており、引き続き快適な図書館利用環境の提供に努め、貸出冊数の増加を目指してまいります。	76
2	事業コード(1)―⑤―1―2 図書館資料管理事業 ・市内図書館、図書室全体資料の充実	図書室全体資料と一括りにしていますが、戦略施策が空欄です。 【戦略施策欄への反映意見】 本中期実施計画のベースにもなる行政資料や現図書館の取り組みの弱い点(例えば古図面、過去の都市計画実施資料、市民が活用できる過去の行政資料の他、市中に存在する史料等、過去・現在・未来に結びつけることの出来る資料の蓄積)を構築する文言も明記すべきではないでしょうか。 ※図書館の良い所は、無料で市民が自由に情報を入手できることです。一例を挙げれば、全国地形地図は他市では図書館の蔵書です。当市は郊外の博物館所有で、閲覧に入館費用も必要です。もっと市民が気軽に情報を入手出来、自由に議論や打ち合わせの出来る雰囲気づくりが、地域活性化には求められることではないでしょうか？	・戦略施策の欄は「地域創生まちづくり戦略」に位置付けられた事業を表示しており、当該事業は戦略施策へ位置付けてはいないため空欄としております。 ・当市図書館では、「中津川市立図書館の資料収集及び選書のための基準」に基づき収集・収蔵を行っており、古地図や古文書等の資料については文化財として取り扱っているため、貴重な資料を適切に保存できる施設にて収蔵・展示を行っています。	77
3	歴史文化に魅力があるまち	歴史文化に魅力があれば、京都や近くでは高山市のように観光客の増加が見込めます。ぜひ力を入れてください。しかし、苗木城は山腹が未整備。樹木や竹で覆われた石垣を整備すれば見る場所が多くなり滞在時間も増えるため、市内での飲食や宿泊客の増加も見込める。城ブームが定着してきたので、引き続き苗木城を整備していただくとともに、他の城址の整備も検討してほしい。	地域の皆様とともに実施してきました国史跡である苗木城跡の史跡整備や山城PR等の取組みにより、来場者が15万人まで増加してきております。今後も引き続き苗木城跡及び周辺の整備により見どころを整え、重要な観光拠点として多くの来場者呼び込み、交流人口の増加や観光消費の拡大による地域経済の活性化に取り組んでまいります。 市内には苗木城跡の他にも城跡があり、地域の保存会等により管理や保存の取組みを行っている城跡もあります。現時点では、具体的な整備計画はありませんが、今後の城ブームなどの状況をみながら、他の城跡の整備について検討してまいります。	78
4	きれいで豊かな自然を守るまち	山野を切り開いて増えている太陽光パネルについて触れられていません。自然破壊だけでなく、土砂崩れや土砂の流出もあり、防災・減災にもつながらない。太陽光パネルは目立つので景観を損ねており観光にも悪影響なので、対策を示してほしい。	ご意見いただきましたとおり、太陽光発電所整備により市内各所で山野の乱開発が行われ、土砂流出等、多くの被害報告が寄せられました。個別具体の事業内容については本計画書に明記しておりませんが、市では、令和3年4月より「中津川市自然環境と再生可能エネルギー発電事業との調和に関する条例」を改正し、以降のすべての野立て太陽光事業の届出については厳しく対応・指導しております。また、設置する場合には可能な限り周辺の自然を残し、景観に配慮した資材を使用し自然との調和を図るよう事業者へ指示しており、本計画期間も継続してまいります。また、条例改正前に整備された太陽光発電施設について、適切に管理されていない案件については、国(経済産業省:中部経済産業局)と協力し、事業者へ指導を行っております。	91
5	斎場・墓地	継承されない無縁墓が増えています。メモリアル施設を整備する際には、墓終いを希望する人のためにも墓石や特定の区画を必要としない散骨や樹木葬等に対応することも必要。 従前通りの墓地だけでなく、新しい形の市有墓地を検討してほしい。	メモリアル施設建設にあたっては、従来の考え方に捕らわれず総合的な施設整備を進め、その1つとして新しい形の市有墓地も検討してまいります。	97
6	市外との交流が盛んで、訪れたいまち	目指す方向に書かれている内容は良いですが、P121の主な事業に記されている事業内容が消極的すぎるように感じます。 観光推進事業のインスタグラムや市公式HPの情報発信では不十分。興味がある(中津川市を訪問したい)人は見てくれるが、いくら発信しても中津川市を知らない人は見ない。情報発信して待っているだけでなく、観光物産展への出展、イベントにブースを出すなど積極的に各地へ出て行って、全国各地の人に直接宣伝しないと拡がりを欠く。 観光連携事業として、木曾地域と連携して中山道の宿場を巡る。東美濃地域と連携して城跡を周遊する・・・といったパンフレットを作成して早速配布してほしい。	観光推進事業については、情報発信のほか、観光関連団体が実施するイベント等の支援も明記しており、ご指摘の物産展等については、観光協会等と連携し積極的に各地へ出向き知名度向上に努めております。 また観光連携事業については、木曾地域については木曾方面の自治体と、東美濃地域については東濃5自治体・可児市・御嵩町の7自治体と連携し、中山道や城跡等を基軸に、ご指摘のパンフレットの作成等についても取り組んでおり、本計画期間においても継続して知名度向上に取り組んでまいります。	120
7	きれいで豊かな自然を守るまち	1. 猫が好きな人、嫌いな人がいますが、野良猫対策、地域猫などで、住みやすい環境づくりを進めてほしい。 2. 犬や猫の殺処分ゼロのまちを目指してほしい。	本計画期間においても継続して中津川市猫の不妊去勢手術支援事業や地域猫活動推進により野良猫対策等を行い、人と猫が共生できる環境づくりを進め、殺処分件数を減らしてまいります。	
8	リニアを活かす戦略 「地域創生・戦略Ⅰ リニア岐阜県駅をアドバンテージとみなす。」	これまでの広報なかつがわで、公表されたリニア岐阜県駅には、切符売り場は無く、プラットホームでの見送り迎いの立ち入りができません。駅舎における物品販売等、駅周辺のにぎわいについて再考してください。	駅舎はJR東海の施設になるため、お見送りやお出迎え等ご乗車以外の入場や駅舎内での物品販売等の要望については、JR東海へ伝えさせていただきます。 なお、市では改札近くの空間で物品販売や情報発信、また駅前広場でイベント等を行えるようにするとともに、千旦林川周辺を親水空間として整備し、来訪者のみならず市民の皆さまも日常的に訪れたいような魅力のあるエリアとすることで、駅周辺のにぎわいを創出してまいります。	18
9	リニアを活かす戦略 「中心市街地のにぎわいをつくるまちづくり」	神坂PASスマートインターチェンジを通る車は、馬籠と妻籠の観光ルートに入ります、市内には向かわないと思いますが、いかがでしょうか。	神坂スマートインターを利用する馬籠・妻籠のお客様が、市街地や中津川市内を周遊していただけるよう観光資源の情報発信や周遊観光ルートの検討などを行います。また、市内へアクセスするための標識設置等による、周遊を促す施策について検討を続けてまいります。	18

No.	項目	意見の概要	市の考え方(回答)	該当頁
10	リニアを活かす戦略 「リニア駅と乗り換え施設を、便利で利用しやすく」	在来線(中央西線)の利用者にこの件について、調査されたでしょう。調査結果を知りたいです、調査結果に基づいて乗換施設をどのような形にすべきか決めるように願います。	在来線利用者に対しての調査は行っていませんが、リニア駅周辺のデザイン指針を取りまとめた「デザインブック」に対してのパブリックコメントを令和4年1月に実施し、乗換施設については、美乃坂本駅利用者の動線に関するご意見があることを把握しております。 なお、美乃坂本駅利用者の動線や駅南北の往来等、現在の利用のされ方は交通調査にて把握しております。 それらを踏まえ、南北の歩行者の行き来を安全に行えるよう、在来線をまたぐ自由通路を設置することとし、あわせて美乃坂本駅を橋上駅舎化することで、駅利用者が安全で且つスムーズに乗り換えができるようにしたいと考えております。	18
11	リニアを活かす戦略 I-2中心市街地のにぎわいをつくるまちづくり 「I-2②目指す方向 中心市街地全体のにぎわいが創出されている」	にぎわいは視覚的経験では成立しません、ものを作るような行動を伴う体験型にぎわいを造ってください。23頁「馬籠の写真」は夕陽の時がもっと素晴らしい眺めです。	目指す方向にもありますように、リノベーションなどにより中心市街地での出店のハードルを下げることで、あらたな事業者が加わり、にぎわいが向上すると考えております。また、市内で実施しております伝統工芸や伝統芸能等の体験型観光を中心市街地においても継続して実施し、にぎわいを創出できるよう検討してまいります。 馬籠の写真につきましては、夕景も素晴らしく市で作成しておりますパンフレット等に使用させていただいております。	21
12	(3)-①-i 工業振興 「99頁、リニア岐阜県駅の優位性を生かした企業誘致の推進」	この計画は令和8(2026)年までのようです、リニア中央新幹線は2027年開業予定です。現在どのくらいの企業誘致ができましたか、数値だけでも知らせてください。	リニア駅開業の効果を視野に入れた企業誘致の実績は、現在1件となります。新たな事業用地として、リニア岐阜県駅の近接に「中津川西部テクノパーク」の整備を進めております。	99
13	計画人口 結婚・出産・子育ての希望をかなえるまちづくり	5カ年計画人口予測69500人に対して72000人を指すとあるが34頁にある合計特殊出生数(原文ママ)1.58を目標1.8が最近の令和4年度出生数340~390人予測の段階で合計特殊出生数1.58ですら維持できないと考えられる。 その為の施策が妊娠から出産育児まで、妊婦、母子の支援を行いますという言葉だけの支援で有り、中津川市として独自の物心両面からの施策を大胆に打ち出すことで無い限り流入人口があっても72000人、1.8は無理不可能と考えられる。 ことはコロナにより社会の構造が変化しているので今一度施策、目標値の見直しを求めたい。	平成26年度に推計された令和2年度の人口74,102人に対して、令和2年度の国勢調査人口は76,570人となっており、推計を2,468人上回る結果となっております。人口がこのままのペースで推移した場合は、計画人口である72,000人を上回る見込みであります。 合計特殊出生率については、短期的な視点では不可能に近い目標であることは確かですが、国、県の目標との整合を図りつつ、人口減少を食い止め、将来にわたって市が持続的に発展していくために必要となる目標値を設定しております。 本計画においては、「若者の定住戦略」として、今後の中津川市を考える上での最大の課題の一つである人口減少という問題に取り組んでまいります。また、人口減少社会の中にあっても市民が安心して暮らせるように、「人が集い、安心して暮らせる戦略」として人口減少に対応するための取り組みも進めてまいります。	10,34,35
14	結婚・出産・子育ての希望をかなえるまちづくり 協働・市民活動	ワーク・ライフ・バランスの重要性の周知啓発とあるが、現在中津川市内登録業者数127社で市当局はおそらくは大変多いかと感じていることと思うが、内容を精査したことがあるのか知りたい。 約50%の登録業者は市の指名業者で経営審査の得点を挙げる(原文ママ)ために登録したとしか考えられない。 市としての動きが見えない。一考されたい。	ワーク・ライフ・バランス推進企業の登録届出に関しては、事業所が直接岐阜県へ申し込む制度です。申し込み時の詳細な内容については把握していませんが、事業所に対して啓発を進めるうえでは、多くの事業所が制度を活用して登録していただけることは周知啓発の前進と考えております。 特に優良な取り組みを行っている事業所は、「岐阜県ワーク・ライフ・バランス推進エクセレント企業」の認定を受けることができます。 ワーク・ライフ・バランス推進企業の登録届出は、ワーク・ライフ・バランスを各企業が取り組む第一歩と考えており、県と連携して企業訪問を行い「岐阜県ワーク・ライフ・バランス推進エクセレント企業」の認定の取得を促すなど、より多くの事業所でのワーク・ライフ・バランスが促進されるよう、啓発を行ってまいります。	35
15	学校教育	岐阜サマーサイエンススクールの開催については大変立派な事業であるが、残念ながら他都市からの参加者が大半だったと言われていた。 今後は将来を担う中津川の子どもたちの為に中津川の子どもたちだけを対象とされることを願いたい。	岐阜サマーサイエンススクールについては、令和3年度よりコロナ禍の中の開催を考えオンライン講義といたしました。 令和元年度は市内51名参加に対し、市外は16名、令和3年度は市内122名、市外17名の参加、令和4年度は市内192名、市外52名の参加でした。 オンライン講義となり、参加者は増加しており、市内の参加者もオンライン講義前と比較すると3.7倍になっています。ネットの効果もあるのか、市外参加者もオンライン講義前と比較すると3.25倍になっています。講師の先生方も、市内、市外の参加者の増加を大変喜んでおり、オンラインでの開催であれば、市内市外を問わず多くの子どもたちに学ぶ楽しさを伝えることが可能であるため、今後も継続してまいります。	48
16	斎場・墓地	新斎場建設事業:未だ本事業計画後期では候補地の選定とあるが前期計画ですでに62頁「新斎場建設事業-老朽化した斎場を集約し、新斎場を整備する」と記載されている。5年かかって候補地ですら未定の状況では令和8年に整備されることは不可能かと考えられる。 今回の後期事業実施計画では目標達成までの工程表を明記されることを期待したい。	本計画には細かい工程表まで記載できませんが、今後はこれまでの課題を精査し、市民の皆様のご意見をいただきながら、関係各所との連携を密にして、まずは候補地の選定を進めてまいります。候補地決定後は細かい工程表を作成し、順次公表し、示してまいります。	97